

2011 年度多言語・多文化社会(歴史と現在)「インドネシアの多言語・多文化社会」

授業科目	総合科目 VI 《多言語・多文化総合プログラム》				
授業題目	多言語・多文化社会(歴史と現在)(9438)				
対象学年	1 年次～4 年次				
開講学期	1 学期	曜日・時限	5 月 26 日(木)1 限	教室	226
授業の目標	インドネシアにおける多言語・多文化社会の実情と歴史を概観する。				
教材・参考書等	加藤剛「多民族国家:『多様性の中の統一』への道」宮崎恒二ほか編『暮らしがわかるアジア読本 インドネシア』河出書房新社、1993. pp.25-34.				
成績評価	授業後にレスポンス・ペーパーを提出することで出席とする。				
注記	リレー講義のうちの 1 回を担当。授業全体の問合せは授業代表の篠原琢先生まで。				
担当教員	青山 亨(インドネシア語専攻)633 研究室 Email: taoyama@tufs.ac.jp Website: http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/aoyama/				

授業の流れ

1. 導入: マレーシアとインドネシアの民族概念(10 分)
2. 背景: インドネシアの民族・宗教の分布(20 分)
3. 素材: ビデオ「南の国のデパート・ガール」(25 分)
4. 討論: ビデオにもとづくディスカッション(15 分)
5. 総括: 宗教分布の歴史的背景: マレーシアとどこが違うのか?(再整理)(10 分)
6. 補足: ナショナリズムの二面性とは何か?(10 分)

授業の狙い


1. 東南アジアにおいて多民族国家であるということは、どういうことかを理解する。
2. 多民族国家における文化の違いの歴史的背景を理解する。
3. ナショナリズムのもつ二面性を理解する。

さらに学びたい人のための参考文献

- ・ 綾部恒雄・石井米雄編 『もっと知りたいインドネシア』第 2 版. 弘文堂. 1995. 少し古くなったがインドネシアについての標準的概説書。
- ・ 小川 忠 『インドネシア—多民族国家の模索』(岩波新書)岩波書店. 1993. スハルト体制期のインドネシアを描く。インドネシアの多民族性にも言及。
- ・ 塩川伸明 『民族主義とネーション—ナショナリズムという難問』(岩波新書)岩波書店. 2008. ナショナリズムを考えるための良い入門書。
- ・ 白石 隆 『海の帝国—アジアをどう考えるか』(中公新書)中央公論社. 2000. 東南アジア海域世界の歴史を振り返る。
- ・ 見市建 『インドネシア イスラーム主義のゆくえ』平凡社. 2004. インドネシアのイスラーム主義運動の現状を解説。
- ・ International Crisis Group. 2011. "Indonesian Jihadism: Small Groups, Big Plans." *Asia Report* No.204 (19 April 2011). <http://www.crisisgroup.org/~media/Files/asia/south-east-asia/indonesia/204%20Indonesian%20Jihadism%20%20Small%20Groups%20Big%20Plans.ashx> [access 2011-05-05].

Add-on Program多言語・多文化社会「歴史と現在」
2011年5月26日


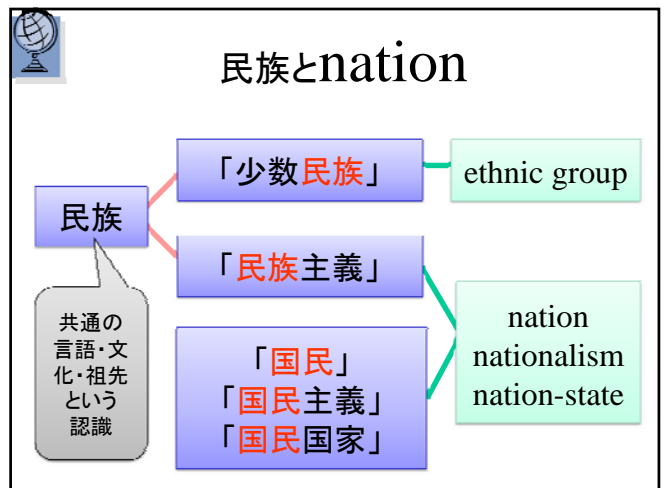
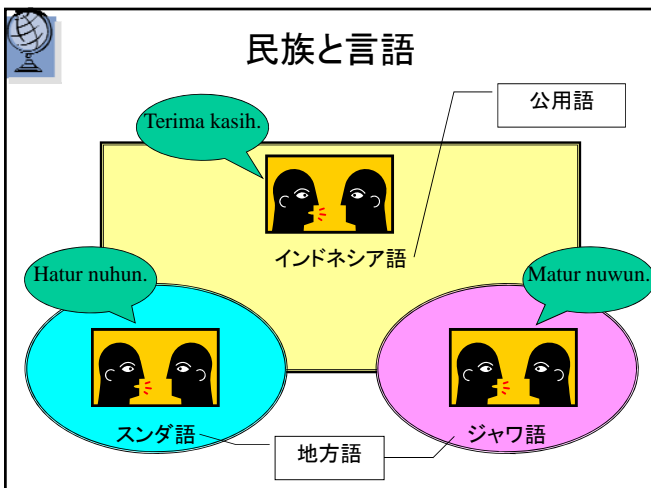
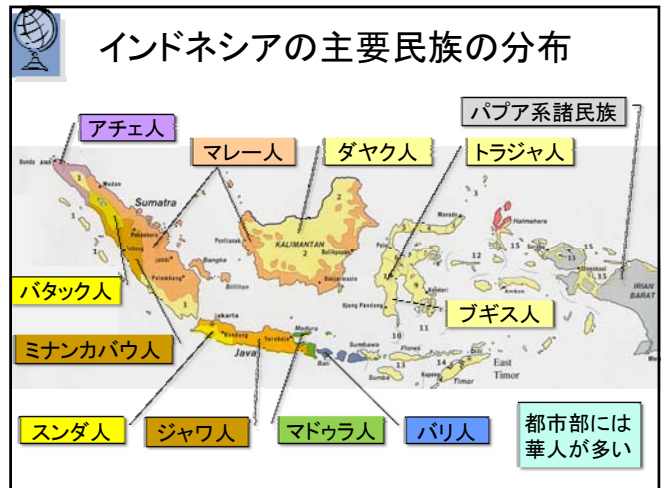
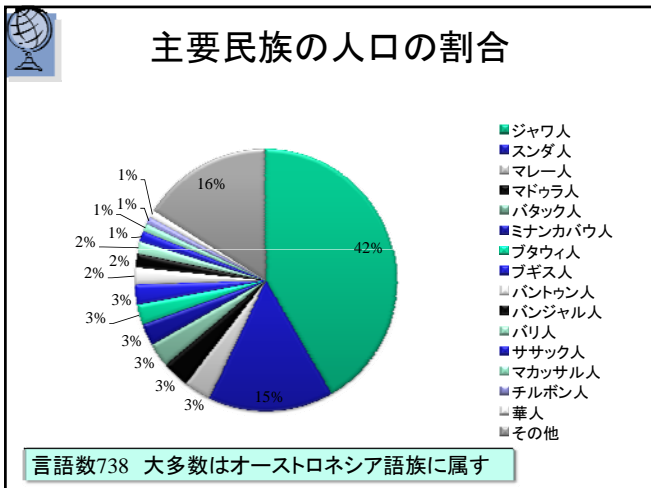
インドネシアの多言語・多文化社会




青山 亨
東京外国語大学 インドネシア語専攻


インドネシアの概要

面積：189万平方km
人口：2億3,000万人 ジャワ人など300以上の民族
首都：ジャカルタ(884万人)、33州
政体：共和国(1945年8月17日独立宣言)

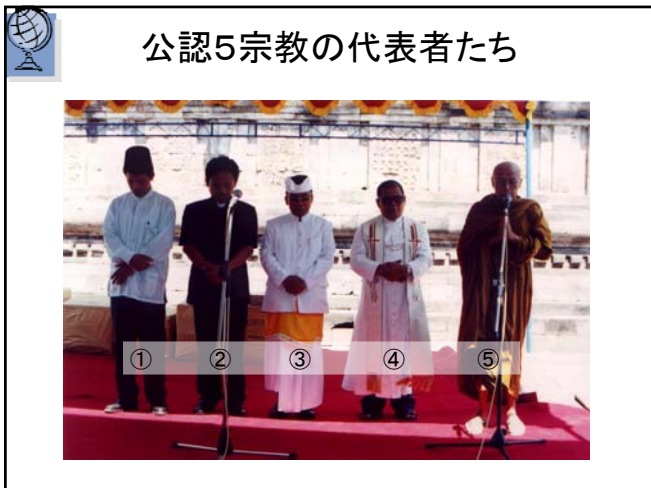
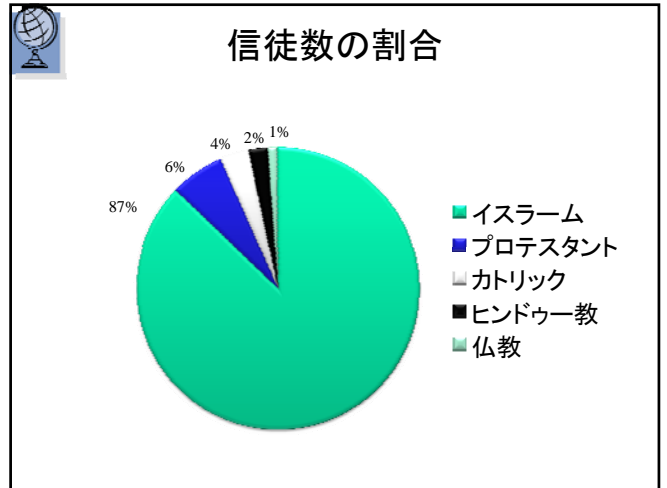
バンサ: インドネシアとマレーシア





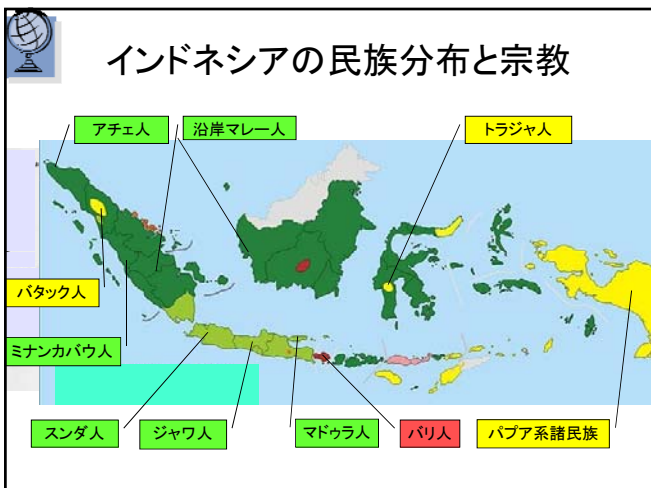
- 1つのバンサ(国民)
 - インドネシア人
- 1つの公用語、複数の母語
- バンサ(国民)を構成するスク・バンサ(民族)は固有の領域をもつ
 - ジャワ人、スンダ人など

- 3つのバンサ(民族)
 - マレー人(ブミプトラ)
 - 華人
 - インド人
- 1つの公用語、複数の母語、1つの共通語
- マレー人は「固有」だが、華人とインド人は「外来」



2011年インドネシアの祝日

1月1日	新年
2月3日	イムレック(中国暦2562年新年)
2月15日	マウリッド(ムハンマド誕生祭)
3月5日	ニュピ(サカ暦1932年新年)
4月22日	聖金曜日(キリスト受難日)
5月17日	ワイサック(仏教大祭: 仏陀の生誕・成道・入滅)
6月2日	キリスト昇天祭
6月29日	イスラ・ミラジ(ムハンマド昇天祭)
8月17日	インドネシア共和国独立宣言記念日
8月30-31日	イドル・フィトリ(断食明け大祭)「ルバラン」
11月6日	イドル・アドハ(犠牲祭)
11月27日	イスラム暦1432年新年
12月25日	クリスマス(キリスト誕生祭)



- ### 民族: 言語と宗教と地域
- バリ人
 - バリ語、ヒンドゥー教、バリ州(バリ島)
 - バタック人
 - バタック語、キリスト教、北スマトラ州
 - トラジャ人
 - トラジャ語、キリスト教、南スラウェシ州(内陸部)

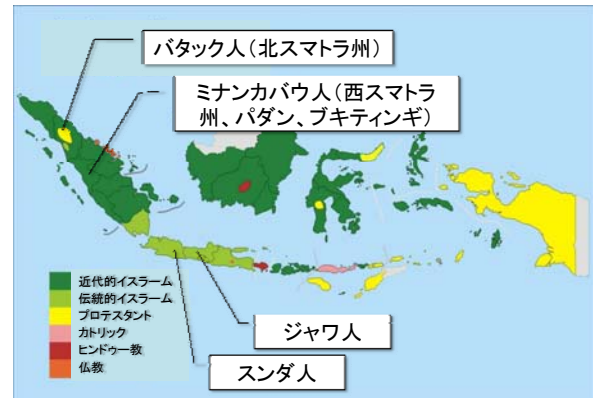


映像資料

- 「南の国のデパートガール」
- アジア再発見シリーズ
- 1996年 NHK大阪制作
- 25分
- シートに記入しながら、視聴してください。



登場人物の出身地



宗教的多様性の歴史的背景

- 5世紀～15世紀: インド文明の影響
 - ジャワ島を中心にヒンドゥー教・大乘仏教を信奉する王国が出現
 - 14世紀以降バリ島にも定着
- 15・16世紀: イスラームの本格的な定着開始
 - 海上交易の拠点から伝播
 - イスラーム王国が各地に出現>民衆に普及
- 16世紀: キリスト教の到来
 - 香料諸島への関心>東部インドネシアに展開
 - 19・20世紀に一部の内陸部で布教に成功



バンサ: インドネシアとマレーシア



- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • 1つのバンサ(国民) <ul style="list-style-type: none"> - インドネシア人 • 1つの公用語、複数の母語 • バンサ(国民)を構成するスク・バンサ(民族)は固有の領域をもつ <ul style="list-style-type: none"> - ジャワ人、スンダ人など | <ul style="list-style-type: none"> • 3つのバンサ(民族) <ul style="list-style-type: none"> - マレー人(ブミプトラ) - 華人 - インド人 • 1つの公用語、複数の母語、1つの共通語 • マレー人は「固有」だが、華人とインド人は「外来」 |
|---|--|



ナショナリズムの二面性

「国民=平等な個人、共通の紐帯」という前提

多数派とは異なる少数派の圧力

多面的な価値をもつ国民の在り方を否定する可能性がある。



ナショナリズムの二面性

武闘派イスラーム主義者の活動

- アフマディア派イスラーム教徒への攻撃
- キリスト教徒への攻撃

宗教的憎悪は容易に民族的憎悪につながる可能性がある。